

2021 年度 日本建築学会東海支部研究集会

- 主 催 日本建築学会東海支部
- 日 時 2022 年 2 月 21 日 (月) 9:00~16:30 (予定)
一般講演+支部シンポジウム (於: 芸術工学部管理棟・図書館)
2 月 22 日 (火) 9:00~16:00 (予定)
一般講演

- 会 場 名古屋市立大学北千種キャンパス (名古屋市千種区北千種 2-1-10)
公共交通機関 地下鉄名城線 ナゴヤドーム前矢田 ①出口・徒歩 20 分
市バス 基幹 2 「萱場 (かやば)」下車すぐ

キャンパスマップ: <https://www.nagoya-cu.ac.jp/campus-map/kitachikusa/>

※ 会場には一般駐車場はありません。また周辺は駐車禁止区域になっております。自家用車での来場はご遠慮ください。

■ 一般講演・シンポジウム

建築 CPD
認定プログラム

1. 一般講演
- ・講演時間: 1 題当たり 12 分 (発表 9 分・質疑 3 分)
 - ・使用できる映写機器 PC プロジェクター: 会場に設置済み
 - ※データファイルを保存した PC をご持参ください
 - (ただし、使用に関しては支部 HP (<http://tokai.aij.or.jp/>) の注意事項を必ず参照ください)

オンサイト・オンライン

1) 材料・施工	2 月 21 日 (月)	9:30~11:38	会場: A204・Z3
	2 月 22 日 (火)	9:30~11:26	会場: A204・Z3
2) 構 造	2 月 21 日 (月)	9:30~11:50	会場: A205・Z4
	2 月 22 日 (火)	9:30~14:24	会場: A205・Z4
3) 環境工学	2 月 21 日 (月)	9:15~11:59	会場: A208・Z6
4) 建築計画	2 月 21 日 (月)	9:30~11:50	会場: A202・Z1
	2 月 22 日 (火)	9:20~15:44	会場: A202・Z1
	2 月 22 日 (火)	9:20~15:32	会場: A203・Z2
5) 都市計画	2 月 21 日 (月)	9:30~11:26	会場: A203・Z2
6) 歴史・意匠	2 月 21 日 (月)	9:15~11:35	会場: A206・Z5

建築 CPD2 単位
認定プログラム

2. シンポジウム

2 月 21 日 (月) 13:00~15:00 会場: 大講義室 (図書館 2F)
テーマ: 「建築を取り巻く関係性の再構築—素材と人材からみた新たなデザイン」

3. 設計競技支部入選者表彰式

2 月 21 日 (月) 15:10~15:30 会場: 大講義室 (図書館 2F)

4. 東海賞授与式

2月21日(月) 15:30~16:30 会場:大講義室(図書館 2F)

5. 設計競技展示会

開催いたしません。

6. 研究交流懇談会

開催いたしません。

その他

・発表登録済みの方も含め、一般講演の参加・聴講だけでなく、シンポジウム・表彰式・授与式への参加にも事前の参加登録が必要です。詳細は支部ホームページ (<http://tokai.aij.or.jp/>) をご覧ください。

・一般講演への参加・聴講には下記の通り**参加費**が必要です。

A) 無料:発表登録者本人、CD-ROM購入の方、学生(大学院、学部、高専など)

B) 1,000円:上記以外の方(含、共著者)

■2021年度(第36回)日本建築学会東海支部東海賞・受賞者および内容

1) 論文賞

・楠川 充敏 君(株式会社 三上建築事務所(名古屋市立大学在籍時の業績))

「大学におけるラーニングコモンスの設置形態別にみた学習環境の使い分け行動」

・櫃本 聡子 君(明治村(名古屋工業大学在籍時の業績))

「煎茶会図録にみる煎茶席の平面構成 一煎茶会図録による煎茶席の空間特性に関する研究
その3」

2) 作品賞

住宅部門

・後藤 周平 君(株式会社後藤周平建築設計事務所)

「Blue house/Blue office」

一般部門

・花村 和也 君(株式会社東畑建築設計事務所)

「土岐市庁舎」

・片桐 雄歩 君(株式会社日建設計)

「大同大学 X (クロス) 棟」

※審査評は追って『建築雑誌』に発表します。(4月号予定)

■日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞概要

1. 主旨

日本建築学会東海支部研究集会における若手の優秀な講演を顕彰し、当支部の研究活動の活性化を図ることを目的とする。

2. 審査の対象

東海支部研究集会で講演した高専学生、大学学部生・修士課程（博士前期課程）大学院生のうち、講演の優秀な方を表彰する。同一者による複数の講演は、それぞれを独立した講演とみなして審査するが、表彰は一人につき一件を上限とする。

3. 受賞者の数

受賞者の数は、全審査対象数の 10%程度とする。

4. 審査方法

審査は発表分野ごとに行う。

5. 受賞者の表彰と公表

表彰は「日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞」と称し、賞状を贈呈する。公表は、受賞者の氏名、所属を東海支部のホームページに掲載するとともに、建築雑誌にも掲載する。